

新潟教区通信

◇◆◇2024年2月号◆◆◇

発行日 2024年2月1日
発行 真宗大谷派新潟教務所長 藤 懿 信 磨
〒955-0071 三条市本町2丁目1-57
Tel (Fax): 0256-33-2805 (2847)
Email: niigata@higashihonganji.or.jp
Website: <https://otani-niigata.jp>

令和6年能登半島地震により被災された

皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

今月号のトピックス

能登半島地震による被害状況について／災害対策委員会報告／第二種共済制度について／『阿弥陀経講義録』発刊／敬弔

教区からの同封物

- ・教区行事予定
- ・2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震への災害救援金勧募について（お願い）
- ・新潟教区教学研修会（第2回） ご案内
- ・新潟教区女性研修会 ご案内
- ・声明基本講習会 ご案内
- ・ひとりからはじめる子ども会講習会 in 新潟教区 ご案内
- ・『阿弥陀経講義』（上・下巻）【高田エリアのみ】

別院からの同封物

【三条別院】

- ・三条別院たより
- ・子ども奉仕団 ご案内
- ・定例法話・念頭会・御命日のつどい ご案内
- ・声明教室 ご案内

【高田別院】

- ・公開講座ご案内

その他の同封物

- ・無窮学場 ご案内
- ・親鸞聖人に会う会 ご案内
- ・災害支援北陸門徒ネット 災害支援ご協力をお願い
- ・震災支援有志会へのご協力をお願い
- ・祥月報盡為期碑参拝研修会 ご案内

能登半島地震による被害状況について(2024年1月14日現在)

【新潟教区 (754 カ寺)】

何かしらの被害が報告されている寺院：164 カ寺

- 寺院建物における深刻被害：1 件（本堂ねじれ・傾き、庫裏3割修復不可能）
※時間の経過とともに他寺院からの報告により増える可能性あり。
- 門徒被害：第17組、第20組などを中心に多数。数は把握しきれていない。
- 液状化による境内地の被害：3 件（墓石の倒壊、寺院建物の損傷など）
- 本堂・庫裏・鐘楼・山門などの被害：約 100 件（白壁、天井、屋根、柱など損傷）
- 本尊損傷、仏具落下など：約 40 件
- 墓地被害：約 30 件（墓石倒壊）
- その他：多数（灯籠倒壊、塀一部倒壊、など）

【能登教区 (353 カ寺)】

聞取寺院数：322 カ寺（教区内寺院からの情報提供含む）

未確認寺院数：31 カ寺（電話回線不通・未連絡寺院含む）

- 本堂
 - ・大規模被害情報：66 カ寺（倒壊・全壊・倒壊寸前・大破・甚大・半壊）
 - ・その他の被害情報：180 カ寺（瓦・仏具落下、壁剥落、鐘楼被害、墓石・灯籠倒壊など）
 - 庫裡
 - ・大規模被害情報：64 カ寺（倒壊・全壊・倒壊寸前・半壊・居住不可・床上浸水・傾き）
 - ・その他の被害情報：124 カ寺（瓦落下、壁剥落、雨漏りなど）
 - その他
 - ・鐘楼堂被害情報：69 カ寺
 - ・墓石・灯籠被害情報：45 カ寺
- ※それぞれ報告内容からの概算の被害件数。

【金沢教区 (325 カ寺)】

- ・大規模被害情報：10 カ寺（本堂傾き、虹梁折れ、柱亀裂など）
- ・その他の被害情報：108 カ寺（壁剥落、瓦・仏具落下、鐘楼被害、墓石・灯籠倒壊など）

【富山教区 (464 カ寺)】

- ・被害情報：59 カ寺（壁剥落、瓦・仏具落下、石垣破損、墓石・灯籠倒壊など）

【小松大聖寺教区 (128 カ寺)】

- ・被害情報：約 10 カ寺（壁剥落、瓦落下、灯籠倒壊、山門被害など）

【福井教区 (214 カ寺)】

- ・被害情報：23 カ寺（壁剥落、瓦・仏具落下、灯籠倒壊など）

【京都教区 (684 カ寺)】

- ・被害情報：3 カ寺（壁剥落、瓦落下など）

新潟教区 災害対策委員会報告(2024年1月17日開催)

去る1月17日開催の標記委員会におきまして、このたびの令和6年能登半島地震の教区対応について協議が行われ、以下の決定がなされました。

- ①新潟教区内において救援金勧募をお願いしてまいります（第一次締切：3/31まで。今月の全寺院発送に同封の文書をご参照ください）。なお、新潟教区内においても被災されたご寺院・ご門徒が多数おられ、復興に向けて大変な状況であることも重々承知しております。ついては、お力添えをいただける方におかれては是非とも御協力をお願いいたします。
- ②新潟教区内各所（新潟教務所、高田教務事務所、三条別院、高田別院、新井別院、池の平青少幼年センター）に救援金箱を設置し、ご協力を呼び掛けてまいります。
- ③上記により寄せられた救援金は、このたびの地震被害に対する支援及び復興のために新潟教区、能登教区をはじめとする被災教区、教区災害支援活動などにおいて使用させていただきます。詳細は今後の災害対策委員会で決定します。

なお、現在、宗派としても救援金勧募のお願い（宗派ホームページ掲載）をしているほか、宗門関係者による有志の団体などから支援のお願いがございます（今月の発送物にて、「震災支援有志会」「災害支援北陸門徒ネット」からのご協力をお願いを同封しています）。それぞれ各自のところで勧募及び活動の趣旨をご確認のうえ、ご協力くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

第二種共済給付申請について

【第二種共済制度の概要】

第二種共済制度は、宗派に属する寺院・教会の相互扶助を基本とする制度で、寺院・教会が拠出した金員（「共済賦課金」＋「共済拠出金」）によって成り立ち、火災及び浸水被害をはじめ、「暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火その他異常な自然現象又は大規模な火事若しくは爆発その他その及ぼす被害の程度においてこれらに類する政令で定める原因により生ずる被害」について復興共済金が給付されます。

毎年お納めいただいている共済賦課金の納入による基礎加入の対象建物（本堂・庫裏）に加え、任意加入の対象建物（本堂・庫裏及びその他宗務総長が認めた付属建物）が保障対象となり、宗派が契約する鑑定事務所の共済査定員により査定の結果、対象建物に対し1%以上の被害が認められた場合は復興共済金が給付されます。また、1%に満たなかった場合でも、本堂、庫裏及び任意に加入している建物に対し「宗派見舞金」が給付されますのでご承知おきください。

<以下の被害は第二種共済の対象ではありませんのでご留意ください。>

- ①仏具・家財など ②扉・障子・畳など ③窓ガラス・雨どい・室外機など ④建物の地階

※地階の定義＝床及び床の周長の全てが地盤面下であること。

【第二種共済給付申請の方法】

- ①被災されましたら二次災害に注意し、安全が確認された段階で境内建物の被害状況をご確認ください。
(被害を受けた箇所の写真撮影をお願いします)
- ②教務所へ被災内容報告(被災日時・災害の種類・被災建物・被害状況をお伝えください。併せて撮影された写真の提供をお願いします。)
- ③報告を受けた内容を教務所から本山及び鑑定事務所へ連絡いたします。
- ④鑑定事務所から寺院に対し連絡が入ります。その際に現地査定もしくは提出資料に基づく査定をご希望をお伝えください。

●現地査定の場合

- ⑤現地査定の場合は共済査定員が直接訪問し、現地査定を実施いたします。住職・教会主管者もしくは代務者(不在の場合は寺族代表者)の立ち合いが必要です。

●提出資料に基づく査定の場合

- ⑤被害状況を詳細に確認するため、追加資料の提出を求められる場合があります。

- ⑥共済査定員の査定結果を基に本山共済審査会で審査されます。

- ⑦ご指定の振込口座へ送金され、手続き終了となります。

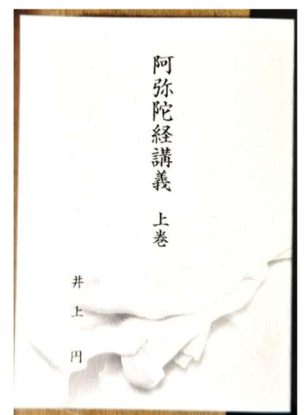
※査定結果に関し異議がある場合は、給付を受けた日又は給付しない旨の通知を受けた日から20日以内に、事由を具して、教務所長を経て宗務総長に再審査請求をすることができます。

教区出版本『阿弥陀経講義』発刊について

このたび、旧高田教区真宗教化研鑽室聞思学場(第4期)での、井上円専任講師(新潟教区高田13組浄泉寺住職)の講義をまとめ加筆・修正した、標記教区出版本を発刊いたしました。なお、この本は旧高田教区で作成したもので、旧高田教区内御寺院並びに同教区門徒会員のみの贈呈・同封となりますことをご了承ください。

また、冊数に限りがあります(今のところ、増刷の予定はありません)が下記のとおり頒布をいたしますので、ご希望の方は教務所または教務事務所までご連絡・ご注文をお願いいたします。

- 頒布価格 4,000円(税込)／1セット(上・下巻)、送料別
- 体裁 A5版、並製本、上巻288ページ／下巻286ページ



敬 弔

生前のご苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。(組順にて掲載)

- ・第8組 本覺寺 前住職 八木 諦隆 (2023年1月6日寂)
- ・第14組 通善寺 前坊守 佐々木諒子 (2023年12月27日寂)
- ・第19組 長養寺 前坊守 中野 佑 (2023年11月10日寂)
- ・第22組 託明寺 坊 守 齋藤 葉子 (2023年9月26日寂)

2024年1月19日までにご逝去された方を掲載しています。

1月号に掲載させていただきましたお名前の漢字に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、ここに訂正いたします。

- ・佐渡組 本龍寺 前坊守 (誤)松本 陸 (正)松本 睦

以 上